

4 PERSPECTIVES ON THE FUTURE OF NIHONGA

トビラの向こう側

ON THE FUTURE OF NIHONGA

FOUR PERSPECTIVES ON THE FUTURE OF NIHONGA

— 日本画 これから —

Hisako IWAI

岩井尚子

海東祐子

Yuko KAITO

Ryusei SATO

佐藤龍生

高橋まり子

Mariko TAKAHASHI

2022 4.17 sun - 11.6 sun

開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入場料：一般800円 / 中学生500円 / 小学生以下無料
障害者手帳お持ちの方無料（団体20名以上1割引）

休館日：毎週火曜日
主催：公益財団法人 鋸山美術館
後援：富津市 / 富津市教育委員会
企画・構成：岩波昭彦

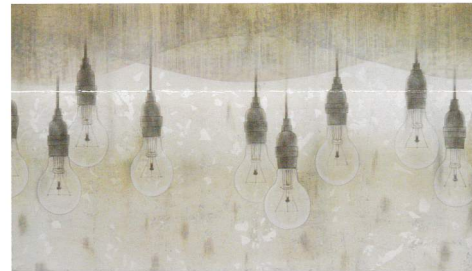


鋸山美術館 第3展示室

〒299-1861 千葉県富津市金谷2146-1 / <https://nokogiryama.com/>
TEL: 0439-69-8111 / FAX: 0439-69-8444

「トビラの向こう側—日本画 これから—」

この度、鋸山美術館にて展覧会「トビラの向こう側—日本画 これから—」を開催致します。
本展は現代日本画壇の新たな担い手として嘱望され、独自の世界の創造に情熱を注ぐ新進気鋭の若手作家たちが挑む人物、風景、動物、静物などのさまざまなジャンルに焦点を当てます。
この展覧会は、古来からの装飾品にインスピレーションを得て「好奇心」を刺激する岩井尚子（1982年—）、静的な淡々とした空間表現を反復するイメージで模索する海東祐子（1985年—）、野性味のある動物の心を捉えようとする佐藤龍生（1983年—）、“何もない風景”を創作の源泉とする高橋まり子（1983年—）が模索する日本画の新たな可能性と行方を探ろうとするものです。
本展を通して、多くの方々へ次代を担う日本画家たちの、それぞれの作品が訴えかけるメッセージを感じ取っていただきたいと思います。



海東祐子 【ひかり】 60.0×105.5cm 2021年

岩井尚子
1982年東京都生まれ
多摩美術大学大学院美術研究科
日本画領域修士



岩井尚子 【Be yourself!】 33.3×24.2cm 2021年

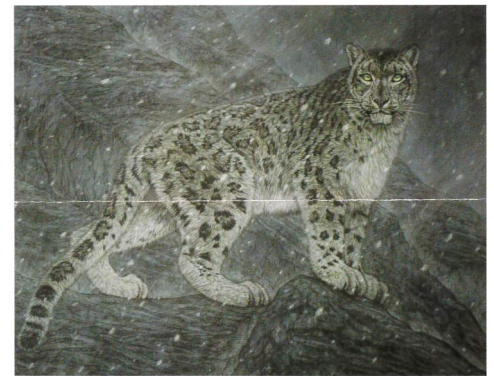
海東祐子
1985年千葉県生まれ
女子大学芸術学部美術学科
日本画専攻卒業
女子美術大学日本画専攻非常勤講師

佐藤龍生
1983年千葉県生まれ
多摩美術大学芸術学部絵画学科
日本画専攻卒業
日本美術院院友
千葉県美術会常任理事

高橋まり子
1983年神奈川県生まれ
女子美術大学大学院美術研究科
修士課程日本画研究領域修士
劇団会準会員
女子美術大学日本画研究室特任助教



高橋まり子 【破の地】 130.3×162.0cm 2019年



佐藤龍生 【出づる（ユキヒョウ）】 181.8×227.3cm 2020年



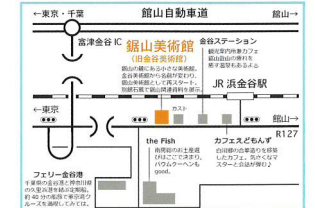
同時開催
第1、第2展示室
【いにしへそして現在】
岩波昭彦の世界
都市の肖像シリーズと神話の世界を
中心に36点を展示致します。

= 関連イベント =

- ①ギャラリー・トーク
日時：9月11日（日）14:00～（13:30 受付開始）
会場：鋸山美術館展示室
講師：岩波昭彦、岩井尚子、海東祐子、佐藤龍生、高橋まり子
定費：20名 / 受講無料（入場料のみ）
申込：前日までに美術館へ連絡（事前申込制）
- ②ギャラリー・コンサート
日時：10月23日（日）14:00～15:30
会場：鋸山美術館第2展示室
出演：ジュゴンボーイズ
定費：50名
チケット：4,000円（先着順）
申込：前日までに美術館へ連絡（事前申込制）



【別館】 画得録有形文化財鈴木家石蔵
「鋸山って知ってる？」この館長が紹介する鋸山の知られざる魅力を紹介します。史料館です。
大人300円 / 中学生150円 / 小学生無料（美術館窓口にて受付）



次回展覧会 ▶ 鋸山美術館コンクール展受賞者・審査員新作展
令和4年11月13日（日）～12月19日（月）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策にご協力ください。開催内容は都合により変更になる場合があります。

【交通アクセス】 ●電車：JR浜金谷駅より徒歩5分
●車：富津金谷ICから3分 / 館前からタクシー（約50分）（無料駐車場あり）
●フェリー：金谷港より徒歩1分